

第91回選抜高校野球大会(23日から12日間、甲子園)の組み合わせ抽選会が15日、大阪市の毎日新聞大阪本社オーバルホールで行われ、出場する32校の1回戦の対戦相手が決まった。東北地区代表の八学光星(青森)は大会第4日の26日、第2試合(午前11時半開始予定)で、中国地区代表の広陵(広島)と対戦する。

【15日に関する記事】

光星は昨秋の青森県大会と東北地区大会を制し、3年ぶり10度目の出場。2012年の第84回大会での準優勝がこれまでの最高成績で、今大会では東北勢悲願の「紫組の大優勝旗」を目指す。

対する広陵は6年ぶり24度目

センバツ 組み合わせ決定

光星 4日目に広陵(広島)戦

の出場。センバツでは、2003年の第75回大会をはじめ計3回の優勝実績がある。

両校はこれまで練習試合を含めて対戦経験がなく、センバツが初対決。抽選会后、光星の仲井宗基監督は「名門校との対戦は大きな喜び。力を全部ぶつきたい」、武岡龍世主将は「練習から勝ちを意識し、自信を持って試合に臨む」とそれぞれ意気込んだ。

東北地区からは他に盛岡大付(岩手)が出場。大会第3日の第2試合で、21世紀枠の石岡一(茨城)とぶつかる。

開会式は23日に行われる。選手宣誓は広陵の秋山功太郎主将が務める。(里村静、藤野武)



対戦が決まり、ポーズを取る八学光星の武岡龍世主将

15日、大阪市